

④ デット・エクイティ・スワップってなあに？

Q : 最近、デット・エクイティ・スワップという言葉を目にしますが、何のことでしょうか。

A : 借入れを株式と交換することです。

【解説】

企業再建の手法として、デット・エクイティ・スワップ（債務の株式化）を活用する動きが広がっています。

デット・エクイティ・スワップ(Debt Equity Swap)とは、デット（債務＝借入れ）をエクイティ（資本＝株式）とスワップ（交換）することで、経営不振の企業が、金融機関などからの借入金を株式に振り替えることで財務内容を改善し、経営の再建を図るというものです。

デット・エクイティ・スワップを実施した場合、債務者企業にとっては、借入金という債務が自己資本に変わることになり、支払利子の負担が減ることになる分だけ、将来の業績回復の可能性が高くなることとなります。

一方、債権者側にとっては、株式に転換した分だけ不良債権を減少させることができると同時に、債務者企業の再建が軌道に乗ってくれば、配当や売却益も期待できることとなります。

ただ、デット・エクイティ・スワップを実施した際には、税務上、債務免除益課税や寄付金課税の問題が生じる可能性もあります。

